

まほろば

H28.7月号

Summer

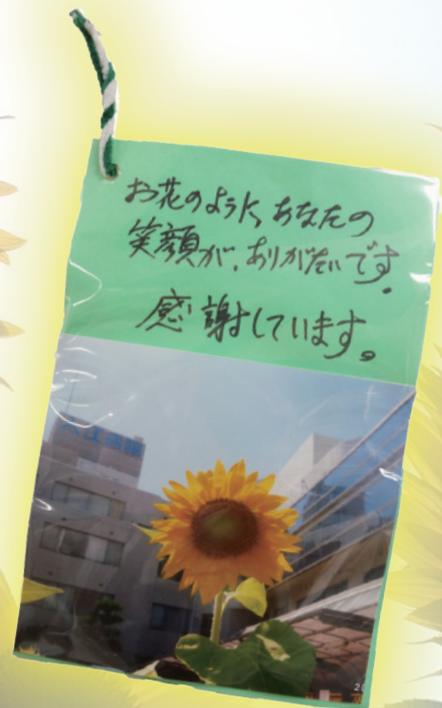
ご自由に
お持ち帰りください

消化器センター特集

TEAM STEPPS

創立記念式典

糖尿病内科よりお知らせ



昨年、患者様より頂いた写真です。
今年もたくさんのおひまわりを植えました。
是非、お立ち寄りください。



医療法人 松藤会

入江病院

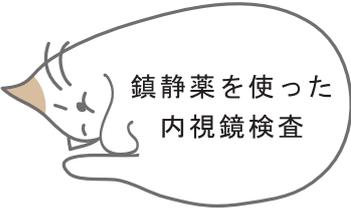
「安心と満足」

安心できる医療の質とサービスを提供し
患者様に満足いただける病院を目指します

本当に楽な内視鏡検査を目指して

入江病院の消化器センターでは、皆様にできるだけ辛い内視鏡検査を受けて頂けるよう様々な方法を取り入れています。過去に内視鏡検査を受けられ、カメラは苦手と感じておられる方。検査の経験はないけれど、怖いな、嫌だなという印象をお持ちの方。ご心配ありません！内視鏡検査をもっとストレスの少ない楽な検査に変えてしまう方法があります。皆様の不安や苦痛を解消すべく、当院で実施している様々な工夫をご紹介します。

内視鏡検査（胃カメラ、大腸カメラ）を受けられる際に、ご希望の方には鎮静薬を使って眠った状態で検査を受けて頂いています。大半の方は気がつけば知らない間に検査が終わっているという具合で、一度鎮静薬を使って内視鏡検査を受けられたご経験のある方のほとんどは次回もこの方法を希望されます。検査終了後は院内で少し休んで頂いてから帰宅となります。検査を受けられた日は自家用車の運転は出来ませんので、公共交通機関かご家族の送迎でお帰りください。



鎮静薬を使った
内視鏡検査



経鼻内視鏡検査

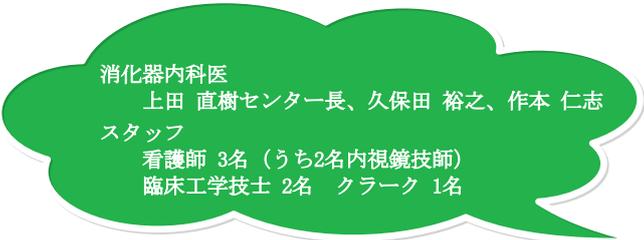
経鼻内視鏡検査では、鼻腔（鼻の奥）の麻酔を行った後、約5mmの細い内視鏡を鼻孔（鼻の穴）から挿入します。通常、内視鏡検査を受ける上で一番つらいのはカメラがのどを通るときに発生する違和感や吐き気です。舌のつけ根（舌根）を圧迫されたときに吐き気が生じるのですが、経鼻内視鏡は鼻の奥から喉に向かってまっすぐに、周囲の粘膜を圧迫する事なくスコープが通過するので、舌根への影響も少なく、吐き気をほとんど感じません。また、検査を受けながら会話することも出来ますので、医師や看護師とコミュニケーションをとりながらリラックスして検査を受けて頂けます。鎮静薬を使いたくない方や、当日車を運転される方などにお勧めです。



二酸化炭素
送気を使った
内視鏡検査

大腸の壁には多数の^{ひだ}襞があるため、カメラから空気を送り込んで（送気）、大腸の壁を十分に伸ばして病変の見落としがないように観察を行います。当院では大腸内視鏡検査にCO₂送気を導入しています。CO₂は空気と比べ速やかに体に吸収されるため、検査後にお腹の張りに苦しむという心配がありません。

内視鏡検査に不安を感じておられる方、過去につらい経験をされてもう受けたくないと思っておられる方、どうせ受けるなら楽な方がいいと思われる方。是非、お気軽にご相談下さい。



消化器内科医
上田 直樹センター長、久保田 裕之、作本 仁志
スタッフ
看護師 3名（うち2名内視鏡技師）
臨床工学技士 2名 クラーク 1名



消化器センターへのお問合せは
079-239-3121（代）まで。



TEAM STEPPS

Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety

良質な医療の提供をするため

患者様に良質な医療を提供するためには、「チーム医療」＝各専門職の良好なチームワークを確立することが重要です。TEAM STEPPSとは、医療において患者様の安全性を高めるためにチームのパフォーマンスを向上させる戦略と手法で、日本国内ではあまり馴染みがない取り組みですが米国の国防総省などでも取り入れられ医療の安全性への効果が認められています。

当院でも、TEAM STEPPSを取り入れ、世界基準で医療安全の確保に努めています。今回は具体的な取り組みを2例ご紹介します。

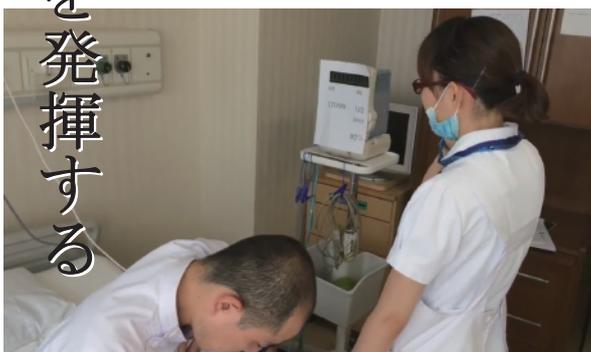
働きやすい環境で
個人のパフォーマンスを發揮する

急変対応を迅速に

急変などの緊急時においては、医師にどのようにして迅速かつ正確に報告するかが重要です。そこで、当院ではISBARCを用いた報告方法のトレーニングを、実際の現場を想定して行っています。

医療現場に限ったことではありませんが、緊急時に現場の状況を言葉で伝えることは非常に困難な作業ですが日々のシミュレーショントレーニングを行う事により、迅速かつ正確な報告を実践しています。

ISBARCを用いた状況報告の流れ



不安を抱えない！

情報共有が重要な医療現場では、チーム内でのコミュニケーションが大切です。職種、経験に関係なく、不安を抱えたまま働くことがないように情報を伝えやすい環境、受け入れる環境を整えることが患者様の安全に繋がります。

当院の臨床現場では、『不安に思ったこと、感じたことは積極的に声に出そう！』という、CUS(カス)の取り組みが実践され定着しています。

入江病院は開院45年目を迎えました

6月4日(土)、創立記念式典を挙行政致しました。昭和47年6月に開院し、今年で45年目に突入しました。これもひとえに地域の皆様のお力添えのおかげと深く感謝しております。今後とも地域の皆様の健康に貢献できる様、尽力してまいりますので、ご愛顧とご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



第10回 外来糖尿病教室

『 最近話題の合併症 』
～え？これも合併症？～

講師 清水医師

『 合併症があると薬が違う 』
～すべての薬を飲めるわけではありません～

講師 薬剤師

糖尿病には様々な合併症があります。合併症を引き起こさないためには生活習慣を見直すことが大切です。糖尿病を予防したい方、糖尿病と診断された方、是非お気軽にお越しください。

ワンポイントアドバイスもあります。また、講義後は希望にて血糖・血圧測定および無料相談も行っています。



8月6日
(土)

● 時間
10:00 ~ 12:00 (9:30 ~ 受付)

● 場所
入江病院 4階食堂

糖尿病健康教室



5月26日(木)、英賀保公民館にて「糖尿病と認知症」をテーマに糖尿病健康教室を行いました。糖尿病と認知症の関連性を説明しつつ、認知症の症状や予防法をご紹介します。教室の半ばに、理学療法士による認知症の予防体操も行い、頭を使いながら運動する重要性をご説明しました。講義終了後の血糖測定も多くの方が希望され、大盛況のうちに終了しました。

次回は11月24日(木)に「糖尿病と塩分」をテーマに講座を実施します。味覚チェックなども行います。皆さんの味覚は正常ですか？

こちらもお気軽にご参加下さい。

編集後記

今年も暑い夏がやってきました。子どもたちにとっては楽しみな夏休みですが、ケガや病気も心配です。特に子どもや高齢の方々の熱中症は特に注意が必要です。屋内外問わず、こまめな水分補給と体調管理を行ってください。



〒672-8092 姫路市飾磨区英賀春日町 2-25

TEL : (079) 239-3121 (代)

FAX : (079) 239-8975

HP <http://www.irie.or.jp>



● 広報誌に関するご意見はこちらまでお寄せ下さい ●

電話 079-238-5855 FAX 079-238-5856
E-MAIL ohnishi@irie.or.jp (携帯電話からも可)

外来診療日程表

診療時間	診療科目	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00 ~ 12:00 (受付時間) 8:00 ~ 11:45	総合診療科	○	○	○	○	○	○
	内科	○	○	○	○	○	○
	糖尿病内科	○	○	○	○	○	○
	整形外科	○	○	予約	○	○	○
	脳神経外科	○	○	○	○	○	○
	泌尿器科			○			○
午後診 17:00 ~ 19:00 (受付時間) 16:00 ~ 18:45	総合診療科	○				○	
	内科		○	○	○	○	
	整形外科	○		予約	予約	○	
	脳神経外科	○		○	○		

※ 糖尿病内科はすべて予約制です。

※ 水曜日の泌尿器科は第1、3、5週のみとなります。